令和7年第7回会津若松市農業委員会 総会議事録

- 1 日時 令和7年7月23日（水）午後1時30分
- 2 場所 会津若松市生涯学習総合センター
- 3 委員 農業委員 19名
農地利用最適化推進委員 18名
- 4 出席した農業委員 18名

1番委員	長谷川 泰道	2番委員	大竹 吉弘	3番委員	古川 正俊
4番委員	春日部 一視	5番委員	荒井 重隆	6番委員	大島 光信
7番委員	庄司 遼	8番委員	二瓶 正貴	9番委員	多田 善信
10番委員	室野井 建一	11番委員	渡部 一夫	12番委員	折笠 康裕
13番委員	佐野 和枝	14番委員	武田 久美子		
16番委員	渡邊 直也	17番委員	手代木 久司	18番委員	佐々木 隆夫
19番委員	渡部 政美				

出席した農地利用最適化推進委員 17名

1番委員	梶内 徳仁	2番委員	中島 吉郁	3番委員	渡部 義勝
4番委員	長谷川 幸栄	5番委員	山田 千代志	6番委員	田代 新一
7番委員	齋藤 俊紀	8番委員	渡部 清		
10番委員	高橋 一浩	11番委員	島影 盛継	12番委員	本田 武史
13番委員	菅井 洋一	14番委員	佐藤 恒男	15番委員	渡部 政治
16番委員	高橋 一美	17番委員	渡部 裕末	18番委員	奈良橋 渉

5 欠席した農業委員 1名

15番委員	星 俊典				

欠席した農地利用最適化推進委員 1名

9番委員	平塚 与八				

6 出席した事務局職員

事務局長	二瓶 潔	事務局次長	加藤 高弘	副主幹	星 圭一郎
主事	渡部 由華子				

7 出席した執行機関職員（農政部農政課）

主査	長谷川 研人	主事	兼子 唯杜		
----	--------	----	-------	--	--

<p>議長（会長）</p>	<p>只今より、令和7年第7回会津若松市農業委員会総会を開会いたします。本日、出席の農業委員は18名でありまして、定足数に達しております。また、総会会議規則第18条の規定により出席を求めたところ、農地利用最適化推進委員の出席は17名であります。次に、本日の会議日程について申し上げます。日程については、あらかじめ印刷の上、申し上げているとおりであります。ご了承願います。次に、本日の議事録署名委員の指名を行います。署名委員については、総会会議規則第21条第2項の規定により私からご指名したいと思っておりますが、ご異議ございませんか。（異議なし の声あり）</p>
<p>議長（会長）</p>	<p>満場ご異議ないものと認め、ご指名申し上げます。農業委員13番・佐野 和枝委員、同じく14番・武田 久美子委員、以上2名の方をご指名申し上げます。</p>
<p>議長（会長）</p>	<p>それでは議事に入ります。はじめに、議案第26号 農地法第3条の規定による許可申請について を議題とします。事務局の説明を求めます。</p>
<p>農業委員会事務局</p>	<p>総会資料の2ページをお開きください。議案第26号 農地法第3条の規定による許可申請について であります。この案件は、農地法第3条第1項の規定による許可申請書を受理したことから、同条同項の規定により、農業委員会の議決を求めるものです。説明は以上です。</p>
<p>議長（会長） （農業委員13番） 佐野 和枝 委員</p>	<p>事務局の説明が終わりました。次に、各提出案件について、各班担当委員の調査報告を求めます。まず、南四合・町北班担当委員より1番と2番について報告願います。農業委員13番佐野より、議案第26号の1番及び2番について報告いたします。申請内容は、議案書記載のとおりであります。1番と2番の案件は農業者への売買による所有権の移転について許可しようとするものです。なお、現地調査は、7月12日午前10時から、南四合・町北班委員3名が申請内容について農地法第3条第2項各号の不許可要件に照らし調査をした結果、特段異議無いものと認められましたので報告いたします。</p>
<p>議長（会長） （農業委員7番） 庄司 遼 委員</p>	<p>次に、門田班担当委員より3番と4番について報告願います。農業委員7番庄司より、議案第26号の3番と4番について報告いたします。申請内容は、議案書記載のとおりであります。3番の案件は親族間での名義変更による所有権の移転について許可しようとするものです。4番の案件は農業者への売買による所有権の移転について許可しようとするものです。現地調査は、7月17日午後5時から、門田班委員4名が申請内容について農地法第3条第2項各号の不許可要件に照らし調査をした結果、特段異議無いものと認められましたので報告いたします。</p>
<p>議長（会長） （農業委員18番） 佐々木 隆夫 委員</p>	<p>次に、旧市・一箕・東山班担当委員より5番について報告願います。農業委員18番佐々木より、議案第26号の5番について報告いたします。申請内容は、議案書記載のとおりであります。5番の案件は、新規就農者への賃借権の設定について許可しようとするも</p>

	<p>のです。</p> <p>なお、現地調査は、7月15日正午から、旧市・一箕・東山班委員2名が申請内容について農地法第3条第2項各号の不許可要件に照らし調査をした結果、特段異議無いものと認められましたので報告いたします。</p>
議長（会長）	最後に、堂島班担当委員より6番について報告願います。
（農業委員1番） 長谷川 泰道 委員	<p>農業委員1番長谷川より、議案第26号の6番について報告いたします。</p> <p>申請内容は、議案書記載のとおりであります。</p> <p>6番の案件は、農業者への売買による所有権の移転について許可しようとするものです。</p> <p>なお、現地調査は、7月19日午前9時から、堂島班委員3名が申請内容について農地法第3条第2項各号の不許可要件に照らし調査をした結果、特段異議無いものと認められましたので報告いたします。</p>
議長（会長）	<p>各班担当委員からの調査報告が終わりました。</p> <p>本件について、ご質問等はありませんか。</p> <p>（なし の声あり）</p>
議長（会長）	<p>それではお諮りいたします。議案第26号 農地法第3条の規定による許可申請について は、これを原案のとおり、許可と決することにご異議ございませんか。</p> <p>（異議なし の声あり）</p>
議長（会長）	<p>満場ご異議ないものと認めます。</p> <p>よって、議案第26号 農地法第3条の規定による許可申請について は、許可するものと決せられました。</p> <p>次に、議案第27号 農用地利用集積等促進計画（案）に関する意見について を議題とします。</p> <p>（※議事参与の制限により退席）</p> <p>農地利用最適化推進委員 3番 渡部 義勝 委員</p>
議長（会長）	はじめに、事務局及び農政部の説明を求めます。
農業委員会事務局	<p>総会資料の10ページをお開きください。</p> <p>議案第27号 農用地利用集積等促進計画案に関する意見について であり、農地中間管理事業の推進に関する法律第19条第3項において、「市町村が農用地利用集積等促進計画案を定めようとするときは、当該市町村の長は農業委員会に意見を聴くものとする」と規定されており、令和7年7月4日付け、7農政第414号にて会津若松市長より意見を求められております。</p> <p>詳細につきましては、農政部よりご説明申し上げます。</p>
農政部農政課	<p>日頃より、農業委員、農地利用最適化推進委員の皆様には、本市農政事業にご理解・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。</p> <p>議案第27号農用地利用促進計画（案）について、農地中間管理事業の推進に関する法律第19条第3項の規定に基づき、農業委員、農地利用最適化推進委員の皆様にご審議いただきます。</p> <p>7月総会の案件は、農地中間管理権の新規設定が8件、再設定が9件となり、対象となる地域計画のエリアは一箕地区、門田地区、高野地区、大戸地区、荒井地区、川南地区、堂島地区、日橋地区です。</p> <p>11ページをご覧ください。農地中間管理権の新規設定となります。</p> <p>件数につきましては、一箕地区1件、門田地区2件、大戸地区1件、荒井地区1件、川南地区1件、堂島地区1件、日橋地区1件になります。</p> <p>8番の案件につきましては、認定新規就農者による農地の借受となります。</p> <p>続きまして、13ページをご覧ください。農地中間管理権の再設定となりま</p>

	<p>す。</p> <p>件数につきましては、一箕地区が1件、高野地区が8件となり、高野地区につきましては、農地中間管理事業の活用を伴う基盤整備に取り組んでいる地域の案件であり、整備工事に伴う一時利用地の変更のため、農地中間管理権の再設定を行ったものです。</p> <p>詳細な内容は、議案書記載のとおりであります。</p> <p>以上で説明を終わらせていただきます。</p>
議長（会長）	<p>事務局及び農政部の説明が終わりました。</p> <p>それでは、まず、各班において事前の確認を行った際に、要件を満たさないおそれのある班はご報告をお願いします。</p> <p>（なし の声あり）</p>
議長（会長）	<p>次に、本件全体について、ご質問等はございませんか。</p> <p>（なし の声あり）</p>
議長（会長）	<p>それではお諮りいたします。議案第27号 農用地利用集積等 促進計画案に関する意見については、貸付相手方に関する要件を満たしていることを確認の上、「意見なし」として回答することにご異議ございませんか。</p> <p>（異議なし の声あり）</p>
議長（会長）	<p>満場ご異議ないものと認めます。</p> <p>よって、議案第27号 農用地利用集積等促進計画案に関する意見については、異議のない旨を回答することといたします。</p> <p>（退席した委員が入室）</p>
議長（会長）	<p>次に、議案第28号 農用地利用集積等促進計画に定めるべき旨の要請について を議題といたします。</p> <p>（※議事参与の制限により退席）</p> <p>農地利用最適化推進委員 1番 梶内 徳仁 委員</p>
議長（会長）	<p>はじめに、事務局の説明を求めます。</p>
農業委員会事務局	<p>総会資料の17ページをお開きください。</p> <p>議案第28号 農用地利用集積等促進計画を定めるべき旨の要請について ありますが、農地中間管理事業の推進に関する法律第18条第11項の規定により、農用地の利用の効率化及び高度化の推進を図るため、農用地利用集積等促進計画を定めるべきことを農地中間管理機構に対し要請することについて、農業委員会の議決を求めるものです。</p> <p>説明は以上です。</p>
議長（会長）	<p>事務局の説明が終わりました。</p> <p>次に、各提出案件について、各班担当委員の調査報告を求めます。</p> <p>まず、門田班担当委員より1番について報告願います。</p>
（農業委員7番） 庄司 遼 委員	<p>農業委員7番庄司より、議案第28号の1番について報告いたします。</p> <p>申出の内容は、議案書記載のとおりであります。</p> <p>1番の案件は地域計画区域内の農地を認定農業者へ譲渡するため、農地中間管理機構に対し、農用地利用集積等促進計画案を定めるべき旨を要請しようとするものです。</p> <p>なお、現地調査は、7月17日午後6時から、門田班委員4名が申出内容について調査をした結果、特段異議無いものと認められましたので報告いたします。</p>
議長（会長）	<p>次に、八田班担当委員より2番について報告願います。</p>
（農業委員12番）	<p>農業委員12番折笠より、議案第28号の2番について報告いたします。</p>

折笠 康裕 委員	<p>申出の内容は、議案書記載のとおりであります。</p> <p>2番の案件は地域計画区域内の農地を認定農業者へ譲渡するため、農地間管理機構に対し、農用地利用集積等促進計画案を定めるべき旨を要請しようとするものです。</p> <p>なお、現地調査は、7月13日午前9時30から、八田班委員3名が申出内容について調査をした結果、特段異議無いものと認められましたので報告いたします。</p>
議長（会長）	<p>各班担当委員からの調査報告が終わりました。</p> <p>本件について、ご質問等はありませんか。</p> <p>（なし の声あり）</p>
議長（会長）	<p>それではお諮りいたします。議案第28号 農用地利用集積等促進計画を定めるべき旨の要請については、これを原案のとおり、決することにご異議ありませんか。</p> <p>（異議なし の声あり）</p>
議長（会長）	<p>満場ご異議ないものと認めます。</p> <p>よって、議案第28号 農用地利用集積等促進計画を定めるべき旨の要請については、原案のとおり決せられました。</p>
議長（会長）	<p>（退席した委員が入室）</p> <p>なお、只今審議をいただきました農地の売買に係る特例事業の概要につきましては、総会後の全員協議会で改めて説明の機会を設ける予定ですのでよろしく願います。</p>
議長（会長）	<p>次に、議案第29号 会津若松農業振興地域整備計画の変更案に関する意見について を議題といたします。</p>
議長（会長）	<p>はじめに、事務局及び農政部の説明を求めます。</p>
農業委員会事務局	<p>総会資料の20ページをお開きください。</p> <p>議案第29号 会津若松農業振興地域整備計画の変更案に対する意見について ではありますが、農業振興地域の整備に関する法律施行規則第3条の2第2項において、「市町村が農業振興地域整備計画を定めようとするときは、当該市町村の長は、農業委員会の意見を聴くものとする」と規定されており、令和7年6月23日付け、7農政第378号にて会津若松市長より意見を求められております。</p> <p>詳細につきましては、農政部よりご説明申し上げます。</p>
農政部農政課	<p>変更案につきまして、農政課の長谷川と申します。どうぞよろしくお願いいたします。今回の案件につきましては、令和7年5月31日までに農用地区域の変更申出書を受付したものであり、農用地区域への編入案件が1件、除外案件が3件でございます。</p> <p>はじめに、編入案件であります。事業計画者は戸ノ口堰土地改良区でありまして、令和8年度に町北町平沢地区を中心とするエリアにおいて農地中間管理機構関連農地整備事業を予定しております。</p> <p>農振法第10条第3項の規定により、土地改良事業等の対象地については、農用地区域に指定すべき土地とされていることから、申出のあった区域を農用地区域に編入するものです。</p> <p>なお、編入区域は、（総会資料 P23、24）の色付きの区域であり、筆数は町北町中沢字土手下5-1 外99筆の計100筆であり、総面積は48,017.02㎡となります。</p> <p>次に、除外案件であります。除外案件につきましては、2件が電気通信事業者による携帯電話の無線基地局の設置、1件が電気事業者による送電用鉄塔の設置のため、農用地区域から除外するものです。</p> <p>これらは、公益性が高い事業として、転用許可が不要とされているもので</p>

議長（会長）	<p>あり、農振除外についても、事前着工が可能となっているものです。 市では、事業完了後の現況に合わせて、他の案件と併せて手続きを行うものであります。 なお、土地の所在と地目、面積については、記載のとおりであります。 会津若松農業振興地域整備計画の変更案に係る説明については、以上であります。</p> <p>事務局及び農政部の説明が終わりました。 本件について、ご質問等はございませんか。 （なし の声あり）</p>
議長（会長）	<p>それではお諮りいたします。議案第 29 号 会津若松農業振興地域整備計画の変更案に関する意見については、「意見なし」と回答することにご異議ございませんか。 （異議なし の声あり）</p>
議長（会長）	<p>満場ご異議ないものと認めます。 よって、議案第 29 号 会津若松農業振興地域整備計画の変更案に関する意見については、異議のない旨を回答することといたします。</p>
議長（会長）	<p>次に報告に移ります。 報告第 21 号 農地法第 3 条の 3 の規定による届出の受理について、 報告第 22 号 農地法第 5 条第 1 項第 6 号の規定による農地転用届出の受理について、 報告第 23 号 農地の地目変更登記に係る照会への対応について、 報告第 24 号 認定電気通信事業者による電気通信施設等の設置に伴う農地転用について、 報告第 25 号 各種証明に係る交付事務について、 事務局より報告願います。</p>
農業委員会事務局	<p>総会資料の 31 ページをお開きください。 報告第 21 号 農地法第 3 条の 3 の規定による届出の受理について、ご報告いたします。届出の詳細は、議案書に記載のとおりであります。 これらの 9 案件につきましては、すべて相続により権利を取得したものであり、届出内容について審査した結果、受理相当と認められましたので、市農業委員会処務規則第 7 条第 1 項により事務局長が専決処分し、同条第 2 項により報告するものであります。 次に、総会資料の 33 ページをお開きください。 報告第 22 号 農地法第 5 条第 1 項第 6 号の規定による届出の受理について、報告いたします。届出の詳細は、議案書に記載のとおりであります。 これらの 2 案件につきましては、書類審査の結果、受理相当と認められましたので、市農業委員会処務規則第 7 条第 1 項により事務局長が専決処分し、同条第 2 項により報告するものであります。 なお、備考欄の留意事項のとおり都市計画法上の意見が付されております。 次に、総会資料の 36 ページをお開きください。 報告第 23 号 農地の地目変更登記に係る照会への対応について、ご報告いたします。詳細につきましては議案書に記載のとおりであり、1 番につきましては「現況地目が非農地」とであると確認できたことから、市農業委員会処務規則第 7 条第 1 項により事務局長が専決処分し回答書を送付したところであり、同条第 2 項の定めにより報告するものであります。 報告第 24 号 認定電気通信事業者による電気通信施設等の設置に伴う農地転用について、ご報告いたします。詳細につきましては議案書に記載のとおりであり、事業者との協議の結果、転用許可不要事業に該当することから、事業計画書を収受し、転用許可不要事業として取り扱う旨、報告するものです。 次に、総会資料の 38 ページをお開きください。</p>

議長（会長）	<p>報告第 25 号、各種証明に係る交付事務についてであります。詳細につきましては、議案書に記載のとおりであります。</p> <p>この案件につきましては、福島県現況確認証明書等交付事務取扱要領の規定に基づき、農地の地目変更に係る登記手続のため証明書を交付するものであり、事実と相違ないことを確認できたことから、市農業委員会処務規則第 7 条第 1 項により事務局長が専決処分し証明書の交付を行い、同条第 2 項により報告するものであります。報告は以上です。</p> <p>報告第 21 号から 25 号については、報告のとおりご了承願います。</p> <p>以上で、本日の会議日程は全部終了いたしましたので、これにて閉会いたします。</p> <p>（午後 1 時 55 分閉会を宣言する）</p>
--------	--

この議事録は、事実と相違ないことを認め、署名する。

令和 7 年 7 月 24 日

会津若松市農業委員会 会長	渡 部 政 美
農業委員 13 番	佐 野 和 枝
農業委員 14 番	武 田 久美子